

宇都宮市のまちづくり情報紙

No. 7 秋号  
2013.10

# まちぴあ

身近なつながりに出会おう



TAKE FREE  
無料

特集 コミュニティアート

## 芸術でつながろう! 人が主役のまちづくり

ほっとねっと

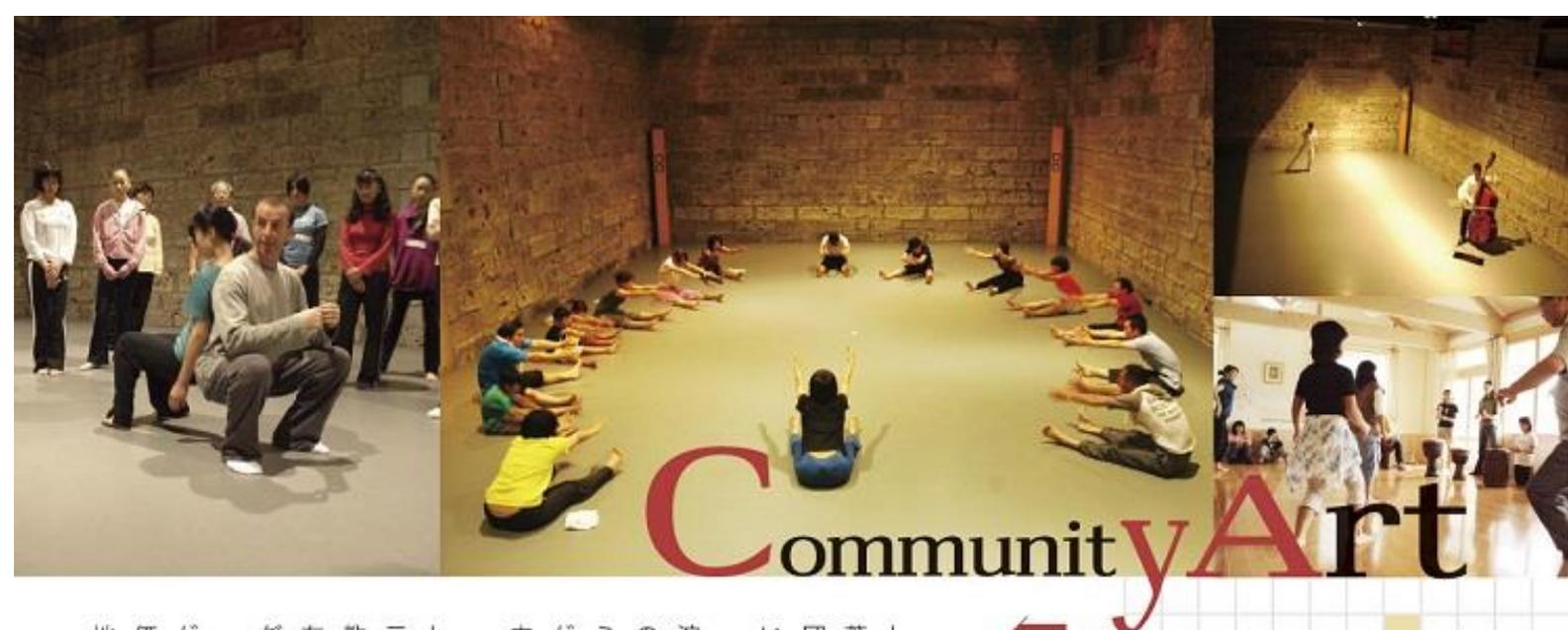
### NPO法人KHJとちぎベリー会

まちぴあ登録団体紹介

MCFコンサート開催事務局  
／交流ハウス・亀の島

まちづくり言いたい放題

after65のチカラを  
地域へ



# 芸術でつながろう！ 人が主役のまちづくり

## コミュニティの変貌

皆さんはコミュニティアートってご存じでしょうか？ 日本ではあまり耳慣れない言葉ですが、近年、まちづくりに取り入れる団体も増えていて、にわかに注目を集めています。

発祥は第一次世界大戦後の英国。当初は演劇をより多くの人に親しんでもらうための観客育成プログラムだったものが、地域コミュニティの課題解決にアートをを用いることが有効だとわかり、多民族が暮らす欧米を中心に、やがて全世界へと広がったそうです。ではなぜ日本では定着しなかったのでしょうか？ その理由は日本が単一民族で元来が「和」を重んじる文化だったため、宗教の違いによる生活習慣のズレなどあまり存在せず、そもそも必要性がなかったからだと推測されています。

ところが、グローバル化という波が押し寄せ、我が国を取り巻く環境は一変。価値観の多様化により生じる様々なギャップ。地域コミュニティは衰退する一方で、それは

もとより学級崩壊や家庭の不和など、いたるところにその歪みが顕在化しています。

このように新しい公共のあり方が問われるなか、コミュニティアートの可能性にいち早く着目し、自身の活動に積極的に取り入れてきたのがダンサーの妻木律子さん(57)でした。

## アートに何ができるか

妻木さんがコミュニティアートと出会ったのは、2004年に文化庁派遣在外研修員として訪れたロンドンでのこと。研修先の the place (ザ・プレイス) で目にした光景は今でも忘れられないと言います。

そこでは、ダンサー、コレオグラファーなどのプロだけでなく、子どもたちからお年寄りはもちろんのこと、様々な立場にある人々がダンスを通じた交流を当たり前のように行っていて、人材育成、創造、公演、調査研究、情報サービスなどの拠点となっていたのです。また、このような機関が推進し、ダンスに限らず、音楽、絵画、演劇などの様々なアートをを用いた空間づくりが地域に

地縁的なつながりが希薄化し、地域コミュニティが衰退する現代社会。どうすれば行政依存の体質から抜け出して、自助努力による地方自治やコミュニティ形成は実現できるのか？ そんな誰もが知りたい課題解決を目指し、生活の中に積極的にアートを取り入れるというシンプルかつ愉快的な方法にチャレンジする興味深い活動取材しました。



Dancer

妻木律子

RITSUKO  
Tsumaki



Profile

立教大学法学部卒業後、ダンスのプロフェッショナルな活動に心身を投入。ダンスセンターセレニテを主宰し、東京と宇都宮に拠点をもちダンス活動を展開。ダンス公演での振付・出演だけでなくダンスクラスやワークショップも精力的におこなう。日本人ばなれしたダイナミズムと日本人特有の精神世界を併せ持つダンスは日本だけでなく海外でも高い評価を得ている。2004年、南宇都宮において大谷石蔵を利用したアートコミュニティ空間be offを設立。アートが生活の必需品となることを模索し、ディレクター分野にも着手。「からだの学校」をプロデュースし、地域活性化事業をはじめ、日々ダンサーとして湧き上がる何かを動機として種々の事業を展開している。

## 「からだの学校」とは？

ダンスパフォーマンスを基軸に人と人、人とアートが日常的に出会う場としてワークショップを定期的に開催。「からだ」による交流からスタートして、アートによる「対話」と「創造」を共有する学びの時間、多様なゲストとのコラボ企画やオリジナル作品の発表へとステップを踏みながらコミュニティアートを展開しています。今年5月に開催されたファインフィールドフェスティバル2013においても作品を発表し、注目を集めました。毎月第2日曜日、be offスタジオにて開催。



からだの学校 運営事務局

〈お問い合わせ〉

〒320-0838 宇都宮市吉野1-7-10

Tel. 028-601-2652 Fax. 028-601-2651

e-mail: info@tsumaki-ritsuko.org

根付いていたのでした。

この経験を生かして、「自分ができること」からでも始めてみよう」との思いから、妻木さんは宇都宮に人が集える場づくりから始め、現在は公演やダンス教室などの合間を縫って、コミュニティアートをライフワークの一部として取り入れています。

2006年〜2007年にかけて開催されたイベント型ワークショップ「からだの学校」では、2年間で約700人が参加し、このときはメディアでも多数取り上げられました。

その後、多忙により活動を一時休止していましたが、「まずは、隣にいる人との関わりが築けるのか、ダンスでなにができるかを追及していきたい」との思いから、次のステップとなる、からだの学校第2ステージを2012年より再開させています。

### これからの教育を問う

現在、からだの学校に参加しているのは15名程度。中学生から50代までと実に幅広い年代が集い、アートを通じた交流を楽しんでいます。その顔ぶれも、造形作家やカ



運営事務局を担当する  
妻木律子さん

ウンセララー、はたまた一般事務のOLさんや専業主婦など実に多彩です。

「ダンスの経験なんかなくても誰でも体験できるプログラム。だから、気軽に参加してほしい」と、事務局を担当する鶴岡雅子さん(43)は白い歯をのぞかせます。

コミュニティアートが盛んな欧米では、NPO活動やまちづくり、大学のプログラムなどにも活用されていますが、我が国で期待されるのは教育の分野。

「グローバル化の進展により世の中は大きく変わりました。これからもその恩恵と可能性は無限に広がっていくことでしょう。けれど、競争に負けない強い社会を実現しようとする流れの中で、私たちは本当の豊かさとは何か、もう一度考えなおす必要がありそうです。混沌の時代、教育のあり方も同じです」

歴史や伝統、風土に培われたことを改めて冷静に見直し、選ぶべきものを生かしてどのように組み立てて行けるか。

『思想はグローバルに、行動はローカルに』  
老若男女を問わず

芸術でつながる「コミュニティ」を創ろうと、妻木さんは今日も走り続けます。

踊れば  
愉快だ  
宇都宮  
UTSUNOMIYA

## うつのみや愉快たいそう



動画投稿サイトYouTubeをチェック!

からだの学校メンバーが主体となって作成した「うつのみや愉快たいそう」のプロモーション動画が完成。動画投稿サイトYouTubeにて「うつのみや愉快たいそう」のパフォーマンスを視聴できるようになりました。うつのみやの歌をベースにした親しみやすいメロディーに、ご当地モノをモチーフにした動きを加えた「うつのみや愉快たいそう」が、老若男女誰でも楽しめる体操として人気です。この体操は、幼稚園、保育園のお遊戯や宇都宮市内の各種イベントにて市民の皆さんが自由に踊ってもらった体操として、広く普及活動を行っているようです。



踊りをマスターしたい人に!

「うつのみや愉快たいそう」  
練習用DVDの無料提供

学校や団体などで「うつのみや愉快たいそう」を覚えたいという方に、身体の正しい動かし方やパートごとのポイントをわかりやすく解説する「練習用DVD」を無料提供しています。地域のグループや小学校の取り組みでも使用可能で、申し込みは団体単位での申し込みが可能です。

お申込み・お問合せ

からだの学校 運営事務局

〒320-0838 宇都宮市吉野1-7-10

Tel. 028-601-2652 Fax. 028-601-2651



# ほっとベリー

No. 7

## NPO法人KHJとちぎベリー会

現代社会において、複雑な家庭環境や人間関係から、生きづらさを感じている若者が増えています。また、そんなわが子を必死で救おうと奮闘する家族たち。不登校・引きこもりなどの当事者や家族の相談・支援活動を行っている「NPO法人KHJとちぎベリー会」理事長 齋藤三枝子さんにお話を伺いました。

### 「仲間といっしょに」

もし子どもがひきこもってしまったら、まわりはどのように関わったらいいでしょうか。

ベリー会は、全国組織（NPO法人全国



創立10周年には、全国引きこもりKHJ親の会 池田代表による記念講演が行われました

### 「親の動きで回復が決まる」

引きこもりKHJ親の会を設立した奥山雅久さんが栃木県でセミナーを行い、そこに集まった家族によって作られました。今年で11年目になりますが、「何もわかんないところから始まり、自分たちも心が折れている、目の前の出来事で精一杯の中、続けるのはすごく大変だった。何人か協力者がいたから、続けることができた」と齋藤さんは語ってくださいました。

引きこもりが始まったら、すぐにつながって対応を考えるのが一番。長くなればなるほど、回復は難しくなってしまう。まずは、どこかにつながって欲しいという思いから、電話相談・来所相談が行われるようになりました。相談の引きこもり状態はさまざま、対応も異なりますが、共通していることは、「その人を認め、自己肯定感をもたせてあげる」「親が認めてあげる気持ちをプラス



お父さん方の情報交換の場、懇親、学習等を目的として、「親父の会」が発足されました

### 「成長を信じていっしょいっしょ」

すれば、かわり方も変化し、子どもも変わってくる」ということです。そのことを伝え、一緒に学んでいく場として、家族対象の月例会や、一般も対象とした学習会を定期的に開催しています。

11月13日には、第6回「自立と孤立の違い」と題した学習会が東市民センターで行われる予定です。

支援を続けることによって、「元気になる家族、出てくる子どもたちも現れ、「正解なんだ!」変化がみられて嬉しい。また頑張ろうという気持ちになる」さらにこれからのベリー会について「ずっと自宅にひきこもっていた若者がいきなりフルで仕事をするのはきつい。最初は行かれる時に、次は決まった曜日に、そして決まった時間に...と、小さなステップを踏

### NPO法人KHJとちぎベリー会

〒321-0954 宇都宮市元今泉5-9-7まちびあ2F  
TEL. 090-1846-4004 (17:00 ~ 20:00)  
E-mail: mail1@khj-tochigiberry.net  
URL: <http://www.khj-tochigiberry.net/>

### 取材後記

ありのままの子どもを受け入れることは、親として簡単なことではないのです。しかし、早くからひとりの人間として認め寄り添って行けたら、きっとスケールの大きい人間となって羽ばたいていくと嬉しい気持ちになりました。(桂)

**「不登校・引きこもり・子育て」の相談場所「ほっとベリー」**

不登校・引きこもりの相談、子育ての悩み、その他子育てに関する悩みを、安心して相談できる場所です。

1人でも大丈夫。ほっとベリーの相談員がサポートします。

「ほっとベリー」へご連絡、ご来所下さい。

住所：〒321-0954 宇都宮市元今泉5-9-7まちびあ2F  
TEL: 090-1846-4004 (17:00~20:00)  
E-mail: mail1@khj-tochigiberry.net

※ 相談は予約制です。お問い合わせください。

※ 相談は予約制です。お問い合わせください。

気楽につながる場所「ほっとベリー」

んでいけるような場所作りをしたい。現在そんな活動が行える場所や土地を探しています」と語ってくださいました。その言葉の奥には、子どもたちの成長する力を信じる齋藤さんの姿がありました。

ひきこもりは、いつ、どういっしょにかけでなるかわかりません。未然に防ぐため、長引かせないためにも、是非ベリー会のホームページをクリックしてみてください。

ちよつと気になる

# コレクシヨン

パンと共に成熟する「支援」の土壤



ハートベリーの天然酵母パン

お問い合わせ：  
自然派パン工房 ハートベリー  
〒321-0155 宇都宮市西川田南1-4-19  
TEL&FAX.028-645-6225  
URL: <http://www.heartberry.jp>  
営業日：火・水・金・土曜日  
営業時間：11:00～17:00  
入手方法：楽天市場での  
通信販売も行っています

ホシノ天然酵母パン種を使用し、はるゆたか(北海道産小麦)など厳選した材料でじっくり発酵させたパンが「ハートベリー」の特徴。噛むほどに深い味わいが広がります。

このパン工房は住宅街に



毎週金曜日には、NPO法人ルヴァンが栃木県立がんセンターで移動販売を行っています

あり、障がい児を持つ母親たちが「一人でも多くの障がいのある方が働く力・生活する力を身に付けていくための場を作りたい」と、2007年に立ち上げました。さらに2012年にはNPO法人ルヴァンを設立し、障がい者への様々な支援を行っています。

現在、ハートベリーの売り上げの一部が、NPO法人ルヴァンの活動資金となっています。また、パンの値付けと

## MACHI DUKURI TOPICS

「まちづくりって何？」  
そんなアナタにディープな地元ネタから、今が旬のレア情報まで、まちびあから「まちパワー」を発信します!!

とっておきの

## 関心空間

起業家を育む

レンタルスペース

今年4月に、ちよつと不思議なレンタルスペース「yuinoma(ユイノマ)」が東宿郷にオープンしました。立ち上げたの

は、有限会社レーベンデザイン 菅野さんです。地域が元気になるにはま

コトを結びつける間となるように」との願いを込めて「結いの間」ユイノマと名付けたそうです。ここは、ワークショップや勉強会はもちろん、キッチンが付いているのでお菓子や食べ物の料理教室を開くこともできます。さらに販売も可能なので、起業を考

経済的な自立を實踐できる入口のような空間としてもお使いいただけます。地域が人を育てる拠点としてこれから多くの人に活用していただけたらと思います、皆さんにご紹介させていただきます。



yuinoma(ユイノマ)

〒321-0953  
栃木県宇都宮市東宿郷 6-1-21 東パークハイツ2F  
有限会社レーベンデザイン 菅野 武(カンノタケシ)  
TEL. 028-634-1560  
E-mail. [yuinoma@i-leben.com](mailto:yuinoma@i-leben.com)  
FaceBook:  
<http://www.facebook.com/takeshi.kanno.92>

## 話題人

つつのみや発の成長できる楽しさ

「コミュニケーションの課題解決をテーマに講師の仕事などをしてしている柏木さん

ん。普段は企業や学校でのセミナーを行っています。市民活動のイベントに参加した際に「魔法の質問。は、普段の生活の中にもこの技術は役立てられる」との思いが募り、仲間と一緒にきづきの学校を立ち上げることとなりました。



鹿沼中央小学校で行われた、保護者や地域の方へ向けた講座でのひとコマ

柏木 聖子 さん

きづきの学校 代表  
趣味：読書、フリーマーケット



ている」と楽しげに話す姿が印象的でした。



本棚には面白そうなマンガがぎっしり

## 亀の島は子どもと大人の実験室！

「亀さん」が集まる島がある。と聞いて、一ノ沢のほとりを訪ねてみました。玄関を抜けると、マンガやボードゲームがある部屋で小学生たちがテレビゲームをやっている。隣の部屋ではお母さんたちがお話をして、2階では中学生の女の子が机で勉強していました。

「亀さんにん」こと西も・若者・大人にとって、フリースペースであり、居場所であり、学びの場である、といったところでしょうか。集まる子どもは、ともすると「学校に行かない」とだけ見られがちですが、家を基地として学び、生活しようとする実践する人もあります。

山さんは、「子どもたちの今を支えるために、大人たちのあり方が試される実験室でもここはある」と言います。家にもなくても怠けるわけではなく、勉強すべきことはやって、子どもたちは次の道を見つけていきます。島の中では、自分のペースで時間が流れます。住人みんなで食事を作り、遊んで話して、できごとを書き留めます。島の外に出かけ



安心できる環境で他者との関わり方を学びます

【団体名】 交流ハウス・亀の島

【活動日】 火・金曜日 【年会費】 3,000円 【参加費】 500円  
【活動場所】 宇都宮市北一の沢町19-10  
【連絡先】 TEL.070-5029-1055 FAX.028-666-2082  
E-mail: tigerpeak@gmail.com URL: <http://turtle-house.s1.bindsite.jp/>



“とちぎ”で演奏できる喜びを共有

## 地元のプロ演奏家と親しむ

「音楽の力で、地元を元気にしたい！」という事務局メンバーは、栃木県内のアマチュア音楽家愛好家の11人。地元とちぎの音楽文化の向上を図ることが活動の目標です。宇都宮市をはじめ、県内出身のプロ音楽家は多いのですが、地元で活躍できる場は少ないと感じるそうです。

その足掛かりとして、今年8月に開催したのが「MCF（マロニエール・クラシック・フェスティバル）コンサートvol.1」。県内出身・在住ゆかりのあるプロ音楽家によるオーケストラ演奏会です。参加したプロ音楽家75人や地元企業など、多くの賛同者の協力で大成功を収めました。

「市内県内の方々が、普段からクラシック音楽に親しめる土壌を作りたいんです。子どもの頃から本物の楽器やプロの演奏に触れられると、音楽を聴くときのマナーも自然と身につくんですよ」と語る、事務局の松本さん。音楽を軸に、今後も地元を盛り上げていきます。



【団体名】 MCFコンサート開催事務局

【所在地】 宇都宮市元今泉5-9-7まちびあ内オフィス（7番ブース）  
【連絡先】 TEL.028-612-7761（月～土12:00～18:30）  
【ホームページ】 <http://mcforchestra.web.fc2.com/>

書籍紹介  
陣内先生が推奨する  
この一冊!



松本すみ子

「地域デビュー指南術」  
再び輝く  
地域シニア  
東京法令出版 2010年7月



陣内 雄次  
プロフィール

2007年、宇都宮大学教育学部教授。NPO法人宇都宮まちづくり市民工房の理事長としてまちづくりの実践にも関わるとともに、コミュニティカフェ「ソノツギ」を運営している。著書に「コミュニティ・カフェと市民育ち」など。

このコーナーでは市民のみならず、市民活動関係者、行政関係者などからのご意見、ご感想をお待ちしています。紙面上での意見交換へと発展することを期待します。ご意見・ご感想はまちびあ広報部へ。

陣内先生の

まちづくり

言いたい放題

7

after 65のチカラを地域へ

高齢者雇用安定法が本年四月一日から施行されました。これにより、60歳などで定年を迎えた社員のうち、希望者全員の65歳までの継続雇用の導入が企業に義務付けられました。現在、年金支給年齢が段階的に引き上げられています。今後の少子高齢化を見据えて政府は一層の引き上げを検討しているようです。このため、年金支給年齢に達するまでは、働き続けることが求められるわけです。

一方、我が国の高齢者は、欧米と比べて定年退職後に働き続けることへの抵抗感が少ないという調査結果があります。私の

周りにも元気でバリバリと働き続けている素敵な先輩方が沢山います。

知恵、知識、人的ネットワークとスキルを一人ひとりが蓄えてきた高齢者は、企業にとつてばかりでなく、宇都宮の地域社会にとつても貴重な財産であることは言うまでもありません。しかし、「住まいと会社の往復だけ」という生活を何十年も続けてきたサラリーマン、特に男性サラリーマンにとつて、地域社会は縁遠い世界になっており、いわゆる「地域デビュー」はハードルが高いことも事実です。

筆者が、定年退職後に地域社会で活躍する生き方に強い関心を持ったのは、あるテレビ番組を見たことがきっかけでした。二〇〇六年にNHK教育放送で放映された「私たちのデイスサービス繁盛記」です。定年退職した元サラリーマン達がNPO法人を立ち上げ、デイスサービス「松溪ふれあいの家」(東京都杉並区)を運営。男性高齢者が求めるデイスサービス、つまり、自分達自身が行きたくなる施設を目指し、サラリーマン時代に培ってきたノウハウや知

恵を出し合い実現したのです。男性高齢者を中心に大人気のデイスサービスとなり、番組に出ていたNPO法人のみならず、笑顔と生き生きとした働きぶりを、今でも鮮明に記憶しています。

本市や栃木県内にも、このように定年退職後の男性が地域社会で活躍されている事例は沢山あると思います。例えば、平成二十五年野木町協働のまちづくり支援事業補助金に採択された、町内S区の高齢化対策検討プロジェクトは、優れた事例の一つと言えます。地域の現状調査と分析、課題の洗い出し、そして対応策の検討を、地域の高齢男性のみならずがチームを組んで行い、これから本格的な活動へ向けて準備を進めているところです。支援事業の応募資料の「おわりに」に、次の一文があります。「高齢化問題を全て行政に依存し、自身は待つのみ姿勢では、問題は解決しない。自助、共助が有って、そのうえで公助を期待する地域で有りたい。」  
after 65のチカラが本市の各地域で活かされることが期待されます。

まちびあ  
ピカ  
ら  
ま  
ち  
び  
あ  
ら  
ま  
ち  
び  
あ  
ら

PICK UP!

子どもの能力をのばしてあげられるのは、  
お母さんあなたの愛情です!

わが子に有名なアーティストになることを望む親は少なくとも、「芸術を愛し情緒豊かな大人になって欲しい」、そんな願いを持つ親は多いでしょう。

子どもは本来お絵かきが大好きで、無限の可能性を秘めた、自由な発想の持ち主だったはずですが、他人と比較されることで自信を失い、芸術全般に苦手意識をいだいてしまうのはとても残念なことです。

この「お絵かきあそび」は、「これなら親子で楽しめるし、私にもできそうだな」と思わせてくれる愛情

いっぱいハウツー物です。

材料は段ボールや新聞紙、クレヨンや色画用紙、公園遊びで拾ってきた木の葉や葉っぱなど身近にあるものばかり。ゆったりした時間と「よくできたね。すてきたね」という心のこもったほめ言葉。そして、この本の中のアイデアさえあれば準備は万端です。「幼い時期の、その年齢、その日その時にしかできない色やかたちは、本人や家族にとって大切なからものです」と「お絵かきあそび」は教えてくれます。



「お絵かきあそび」

鈴木あきこ /  
アトリエ・リュミエール主宰 著  
主婦の友社 2007年発行

イベント情報

歩きみ ふれる ふれあいさんぽ 宇都宮  
第19回 宇都宮歩け歩け大会

日時	10月26日(土)	コース	宇都宮の恵まれた自然と豊かな文化にふれ、人とひととのふれあいを大切にしながら、楽しく歩いて健康づくりをしてみませんか。
会場	宇都宮城址公園	健脚 (20km)	今年は初めて市の中心部で開催されますので、ぜひお気軽にご参加ください。
参加費	500円(中学生以下は無料)	ふれあい (10km)	
お申込み お問合せ	宇都宮歩け歩け大会実行委員会事務 (宇都宮市みんなでまちづくり課内) TEL.028-632-2886		

宇都宮の恵まれた自然と豊かな文化にふれ、人とひととのふれあいを大切にしながら、楽しく歩いて健康づくりをしてみませんか。

今年は初めて市の中心部で開催されますので、ぜひお気軽にご参加ください。

まちづくり、ボランティア団体の祭典「まちぴあまつり2013」

宇都宮市まちづくりセンター「まちぴあ」に登録しているまちづくり団体の皆さんが一堂に会する、年に1回のイベントが開催されます。参加団体の日ごろの活動発表を通じ、市民の皆さんと交流を深めるとともに、日ごろ、地

域の福祉、環境、子育てなど様々な活動を行っている「まちづくり団体」の皆さんとの出会いの場です。参加団体による、模擬店・ステージ・パフォーマンス・体験などが繰り広げられます。ぜひ、遊びに来て下さい。

日時 10月26日(土) 10:00~15:00 会場 オリオンスクエア



情報紙「まちぴあ」の  
バックナンバーがご覧いただけます。  
最新情報に <http://www.u-machipia.org>  
アクセス!

まちぴあ 検索

メルマガ 購読者 募集中!!

鳥の目&虫の目  
+まちぴあ通信

鳥のような広い目で宇都宮全体を見ながら、虫のようにミクロな目で、地域のまちづくり活動をお伝えします。

登録はE-mail / 窓口にて!  
[info@u-machipia.org](mailto:info@u-machipia.org)

市民活動助成基金  
ご協力ありがとうございます

●芝野春枝 (敬称略)

市民活動助成基金とは

宇都宮市では、ボランティア活動やNPO活動を活発にし、全市民的に広げていくため、これらの活動を市民、企業、行政のみんなで支える仕組みとして「市民活動助成基金」を設置しています。

この基金は、市民の皆さんによる「市民活動を応援する気持ち」である寄附金を積み立てるとともに、宇都宮市が寄附金と同額を支出して、積み立てています。

ボランティア団体やNPO法人の活躍により、宇都宮を活気ある、すてきな街とするため、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

ご寄附をいただく

- 広報うつのみや、宇都宮市ホームページ、まちぴあ情報誌(本誌)で氏名または法人名をご紹介します。
- 宇都宮市感謝状贈呈要領に基づき、感謝状を贈呈いたします。
- 市民活動助成金審査会の開催案内及び結果を送付いたします。
- 市民活動助成金交付団体による事業報告会の開催案内を送付いたします。
- 税制上の優遇があります。(個人の場合でも税法の規定により寄附金控除が受けられます)

宇都宮市役所

みんなでまちづくり課 市民活動グループ  
TEL.028-632-2287

URL: <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>

▶ トップページ ▶ (分野別で探す) 市民協働・コミュニティ ▶ ボランティア・NPO

まちぴあ新規登録団体 (2013年7月31日現在 登録団体数228団体)

一般社団法人栃木県若年者支援機構しことや  
栃木県における新しい公共づくりと若年者の力を引き出す雇用創造を進める

West Fields

音楽を通して宇都宮のまちおこし、文化振興、社会福祉に貢献する

スポーツ少年団正道会館カラテ

青少年育成、武道を通じて、子供の健全な育成

スポーツ少年団レジェンドジム

キックボクシングの指導により、健全な子どもの育成に寄与する

宮のにぎわい 山車復活プロジェクト

宇都宮市に残る江戸期の山車「火迫太鼓」を復元し、まちに賑わいをとりもどす

特定非営利活動法人 うつのみや百年花火

うつのみやの活性化に関する事業を行い、地域活性化・商工業の発展及び観光に寄与する

着物を着て楽しむ会

着物の素晴らしさを知って頂くことで、地域の文化振興に寄与する

栃木避難者母の会

福島第一原発の事故により、栃木県に避難してきた育児世代の女性の交流の場づくり

とちぎ学研究会

栃木県に関する多角的な研究を行い、高等教育機関における教育及び市民の生涯学習の発展に寄与

特定非営利活動法人グラスias

生活に困窮している人々に対して、食料、衣料の無料配布など、安心して暮らせる地域づくり

pure rhythm

音楽を通して幅広い年齢層の心の癒しなど、地域に密着したコミュニケーション活動



宇都宮市まちづくりセンター まちぴあ

(指定管理者: 特定非営利活動法人 宇都宮まちづくり市民工房)

〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉5丁目9-7

TEL.028-661-2778 / 028-661-2779

FAX.028-689-2731

E-mail: [info@u-machipia.org](mailto:info@u-machipia.org) URL: <http://www.u-machipia.org>

開館時間 午前9時から午後9時30分まで

休館日 年末年始(12月29日~翌年1月3日)

臨時休館(施設点検等)

JR宇都宮駅東口から徒歩15分 駐車場28台

まちぴあ情報紙の寄附版ができました。ご希望の方はまちぴあまでご連絡ください。